

MOBO Keyboard 2

折りたたみ式 Bluetooth® キーボード

取扱説明書

本紙に記載された内容は製品や OS のバージョンによって変更される場合がございます。  
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。  
また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。  
他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。



危険

死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。



警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容です。



注意

軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。



気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

**免責事項**  
お客様または第三者が、この製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

ワイヤレス（無線）についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能となります。  
電波方式は GFSK 方式で、干渉距離は 10m です。  
2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した際は、使用場所を変更するか、本製品の使用を停止してください。

※「他の無線局」とは、2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  - ・電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところ
  - ・同じ周波数の電波を使用しているものの近く

- 本製品は、工事設計認証を受けています。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - ・本製品を分解／改造すること
  - ・本製品の認証番号や認証ロゴ等を故意に消したりすること

警告

- 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。  
まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作や、動作の低下、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。  
本製品の電波で各種電子機器や医療機器などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式機器を航空機内で使用することは、法律で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源は必ず切ってください。
- 本製品は、日本国内のみでの使用を対象にした製品です。  
本製品を日本国外で使用された場合、弊社では一切の責任を負いかねます。  
また、弊社が提供する情報に関連して生じた、直接的、あるいは間接的損害を含むすべての損害について、責任を負うことはできませんので、自己責任のもとに弊社情報をご利用ください。

⚠ 危険

- Ⓢ ・本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。  
破裂や発火の原因となります。
- Ⓢ ・本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- Ⓢ ・本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- Ⓢ ・各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠ 警告

- Ⓢ ・本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。  
そのまま使用続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- Ⓢ ・本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- Ⓢ ・水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- Ⓢ ・液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- Ⓢ ・濡れた手で本製品に触らないでください。
- Ⓢ ・小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- Ⓢ ・プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- Ⓢ ・ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- Ⓢ ・製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠ 注意

- Ⓢ ・静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。  
本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- Ⓢ ・動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- Ⓢ ・以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
  1. 強い磁界が発生するところ
  2. 火気の周辺や熱のこもるところ
  3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- Ⓢ ・有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- Ⓢ ・本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- Ⓢ ・コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- Ⓢ ・使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。  
※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。


製品仕様

キー配列	日本語 JIS 配列
キー数	83 キー
キースイッチタイプ	パンタグラフ（アイソレーションタイプ）
キーピッチ	19mm（一部 16.6mm/14.3mm）
キーストローク	1.5mm
キー耐久回数	約 300 万回
Bluetooth® 規格	Bluetooth 5.1 Class2
対応プロファイル	HID
通信方式	GFSK
電波周波数	2.4GHz
動作可能距離	最大 10m（Bluetooth® 接続時・遮蔽物なきこと）
有線接続	可能（USB インターフェース）
USB コネクタタイプ	USB-C
定格電圧	3.1V-4.2V
電源	内蔵リチウムポリマー充電電池（Bluetooth® 接続時） USB パスパワー（USB 接続時）
バッテリー容量	210mAh
充電時間	最大約 4 時間
連続使用時間	最大約 84 時間
動作環境	温度 5 ～ 40℃、湿度 30 ～ 80％（結露なきこと）
対応 OS	Windows11/Windows10/macOS/iOS/iPadOS [iOS16.1 / iPadOS16.1 以降] 日本語配列キーボードとして動作。（OS 側の設定必要） [iOS16 / iPadOS16 以前] OS 側の制限により英語配列キーボードとして動作。かな入力非対応。
材質	キーボード本体：アルミニウム / ABS / TPE スタンドカバー：PU レザー / PC / マイクロファイバー / シリコン
キーキャップ印字	シルク印刷（UV コーティング）
重量	キーボード本体：286g / スタンドカバー：172g 折りたたみ時：166(W) × 120(D) × 15(H) mm 使用時：291(W) × 120(D) × 13(H) mm
本体サイズ	
付属品	USB ケーブル（A タイプオス - C タイプオス / ケーブル長：約 1.5m） 専用スタンドカバー、取扱説明書兼保証書（本紙）

本紙に掲載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標又は登録商標です。  
※OS アップデートやOS の仕様変更により、動作対応の内容が変更になる場合があります。

トラブルシューティングや製品に関する FAQ に関しては、下記のページでも公開しておりますので、ご参照ください。

https://mobo-jp.com/faq



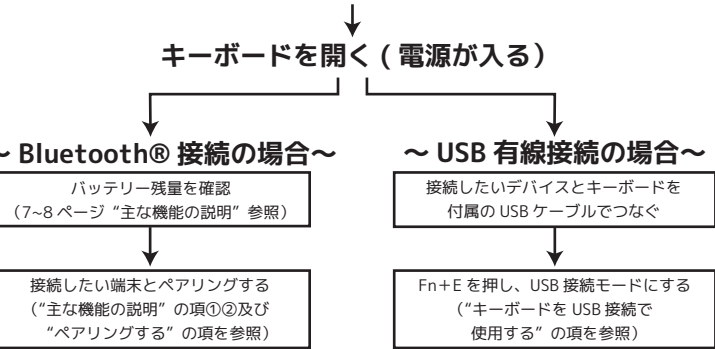
パッケージ内容

- ・キーボード本体 … 1 台
- ・USB ケーブル（USB-C → USB-A） … 1 本
- ・スタンド機能付キーボードカバー … 1 個
- ・ユーザーマニュアル 兼 保証書（本紙） … 1 部

注意	ご使用前に、内容物がすべて揃っているかをご確認ください。 なお、梱包には万全を期しておりますが、万が一、不足品や破損品がございましたら、アーキサイトサポート窓口、またはお買い上げの販売店までご連絡ください。
----	--

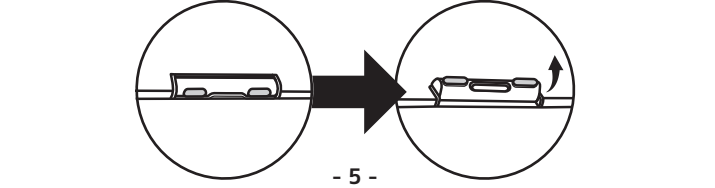
製品を使用するまでのステップ

両サイドがたわまないように、左右のスタンドを上げる



キーボードを開いて使う

入力時に、両サイドがたわまないように、左右のスタンドを立ち上げます。  
キーボードを使用しない際（持ち運びの際は）、スタンドを元の位置に戻してください。  
立てず使用すると、内部キーモジュールに負荷がかかり、故障する恐れがあります。  
必ず立てて使用してください。



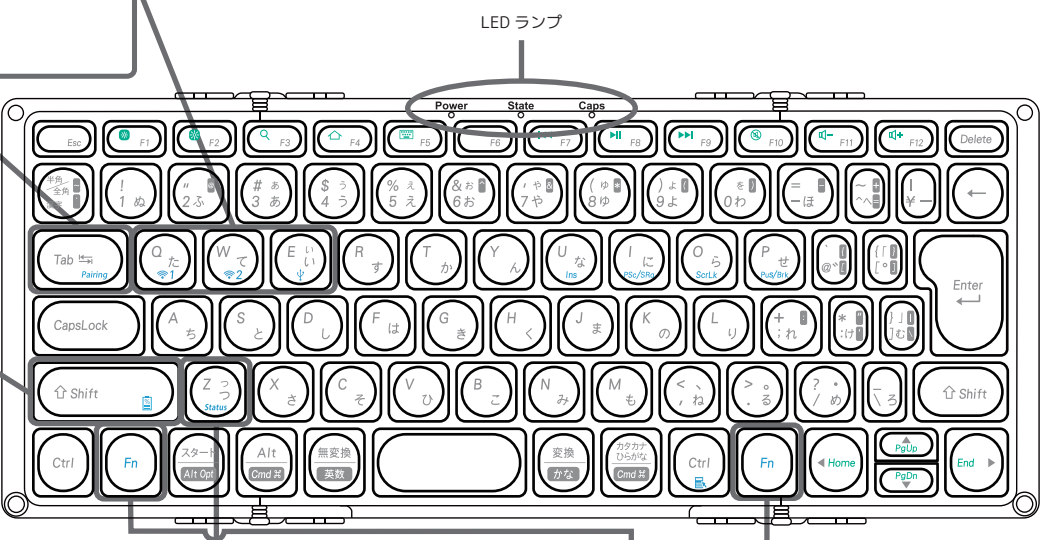
主な機能の説明

①接続チャンネルの選択と切り替え  
Bluetooth® 接続は最大 2 台、USB 有線接続を含めると最大 3 台までの機器との接続が可能です。  
ペアリング時にチャンネル 1 と 2、それぞれに機器を接続できます。  
機器の切り替えは下記のキー操作で行います。  
・ Fn + Q (👈1) … チャンネル 1 の Bluetooth® 機器と接続  
・ Fn + W (👈2) … チャンネル 2 の Bluetooth® 機器と接続  
・ Fn + E (👈👈) … USB で有線接続した機器と接続

②ペアリング  
Fn + Tab を押すと、ペアリングを開始します。

③バッテリー残量の確認  
Fn + 左 Shift キーを押すと、キーボードのバッテリー残量確認が可能です。  
キーボード上部の「Power」の LED ランプが下記のように点灯します。  
・ 残量約 24％以下 … 赤色で点滅  
・ 残量約 25％～74％ … 緑色でゆっくり点滅  
・ 残量約 75％～100％ … 緑色で点灯  
（※LED 点灯 / 点滅は、約 10 秒後に消灯します）  
  
充電中ならびに、充電完了時は、「Power」の LED ランプが下記のように点灯します。  
・ 充電中 … 赤色で点灯  
・ 充電完了時 … 緑色で点灯

④接続中チャンネルの確認  
Fn + Z (Status) を押すと使用中のチャンネルを確認できます。  
キーボード上部の「State」の LED ランプが下記のように点灯します。  
・ チャンネル 1 を使用中の場合 … 赤色で点灯  
・ チャンネル 2 を使用中の場合 … 青色で点灯  
※チャンネル切り替え時も、同様に「State」の LED ランプが点灯します。  
※LED の点灯は、約 10 秒後に消灯します。



⑤ダブル Fn キー  
Fn キーとの同時押しで、青 / 緑色で印字されたキーファンクション、マルチメディアファンクション機能の操作を行うことができます。  
Fn キーは、左右 1 キーづつ、ホームポジションに手をのいた状態で、操作しやすいよう位置に配置してあります。

キーボードの電源を ON にする

キーボードを開くと自動的に電源が ON になります。  
開いてから 10 秒間程度「Power」LED ランプが緑色に点灯します。  
閉じるとキーボードの電源が OFF になります。

- スリープモードについて  
キーボードを開いた状態で、長時間使用しないと、自動的にキーボードがスリープモードに切り替わります。スリープ解除は、いずれかのキーを 1 ～ 2 秒間長押ししてください。

キーボードを USB 有線接続する

- 本製品は、パソコンと USB ケーブルで接続し、有線キーボードとしても使用できます。
- 1 付属の USB ケーブルを USB-C コネクタを MOBO キーボード 2 の USB-C ポートに接続します。
  - 2 付属の USB ケーブルの USB-A コネクタを、パソコンの USB ポートに接続します。
  - 3 Fn キーを押しながら、E (👈👈) キーを押し、USB 有線接続します。

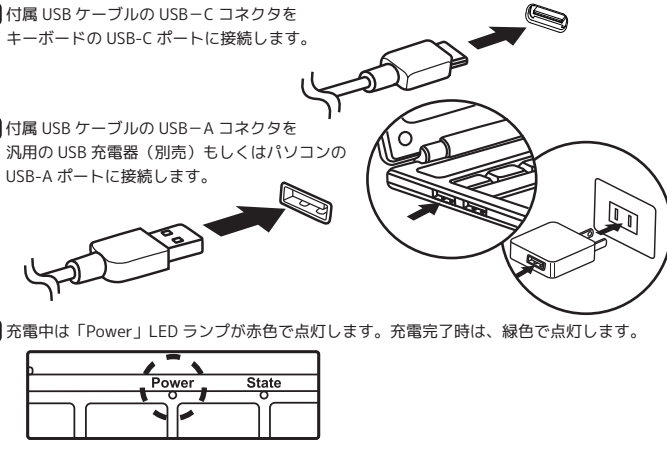
※市販の変換アダプタ等を用いた、iOS/iPad OS デバイスとの接続は、動作保証致しません。  
予めご了承ください。  
※USB ハブや KVM スイッチ等を経由して接続した場合、キーボードが正しく認識されない場合や、誤動作の恐れがあります。個別の相性については、サポート致しません。予めご了承ください。

キーボードを充電する

1 付属 USB ケーブルの USB-C コネクタを  
キーボードの USB-C ポートに接続します。

2 付属 USB ケーブルの USB-A コネクタを  
汎用の USB 充電器（別売）もしくはパソコンの  
USB-A ポートに接続します。

3 充電中は「Power」LED ランプが赤色で点灯します。充電完了時は、緑色で点灯します。



Power

State

Caps

充電中

充電完了

- 6 -

注意：3 キー以上を同時に押すショートカット操作が使用できない場合があります。  
こちらは 3 つ折り構造を実現するための構造上の制限によるものです。  
例) Ctrl + 左 Shift + Tab（MS Excel における、タブの切り替え）→ 使用できません。  
※左 Shift ではなく、右 Shift を使用することで利用可能です。

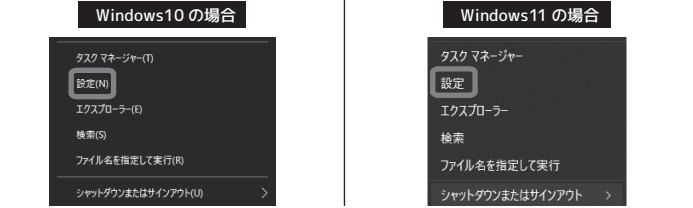


ペアリングする (Windows10、11 の場合)

※下記は、Windows® 標準の Bluetooth® 機能を使用する場合の説明です。  
お使いの端末によっては、独自の Bluetooth® 機能を使用する場合があります。その際は、それぞれの端末の取扱説明書をご確認ください。

1 「設定」画面を表示する

「スタート」にカーソルを合わせ右クリック、「設定」を左クリックします。  
※「スタート」… 画面左下の、Windows マークをタップ。



2 「デバイス」画面を表示する

「デバイス」をクリックします。



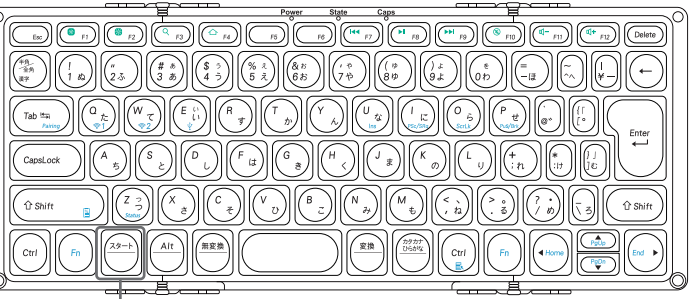
3 Bluetooth® の設定確認

左のデバイスメニューより「Bluetooth とその他のデバイス」をタップします。「Bluetooth」がオフの場合はオンにします。  
“Bluetooth またはその他のデバイスを追加する”横の「+」アイコンをタップします。



- 9 -

Windows 10、11 使用時のホットキー・修飾キーなど



OS 側が正しく日本語配列設定となっている際は、上記配列図の印字の通り、入力が可能です。  
また、Windows10、11パソコンと接続時の、Fn キーと同時に押し動作、マルチメディア機能などのホットキー、修飾キー等の操作方法は下記の通りです。

- マルチメディア機能などのホットキーの操作方法
- Fn + F1 = モニターの輝度 DOWN (※1) ※1…ノート PC やタブレットの内蔵モニターのみ動作
- Fn + F2 = モニターの輝度 UP (※1)
- Fn + F3 = (検索)
- Fn + F4 = (WEB ブラウザの起動)
- Fn + F7 = (前のトラックへ)
- Fn + F8 = (再生 / 停止)
- Fn + F9 = (次のトラックへ)
- Fn + F10 = (音声ミュート)
- Fn + F11 = (ボリュームダウン)
- Fn + F12 = (ボリュームアップ)

- 省スペース化のため、フルキーボードから省かれたキーの操作方法
- Fn + U = Ins (Insert)
- Fn + I = Psc/Srq (PrintScreen/SysRq)
- Fn + O = ScrLk (Scroll Lock)
- Fn + P = Pws/Brk (Pause/Break)
- Fn + ← = Home
- Fn + → = End
- Fn + ↑ = PgUp (PageUp)
- Fn + ↓ = PgDn (PageDown)
- Fn + 右 Ctrl = (メニュー / アプリケーションキー)

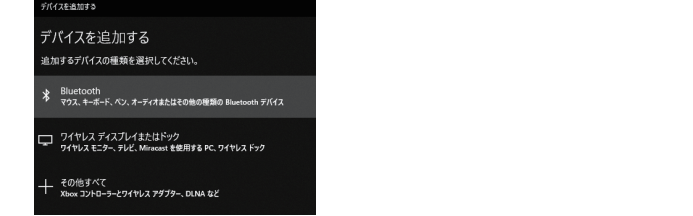
・Fnキーは、キーボード内に機能进行操作する際に使用するトリガーキーでFnキー単体での機能はありません。  
・ノートパソコンの内蔵キーボードや、各パソコンメーカー純正のキーボードのFnキーの機能と、本製品のFnキーを使った機能は異なりますので、同じ操作を行うことはできません。

ペアリングする (Windows10、11 の場合) 続き

Windows10 の場合 Windows11 の場合

4 デバイスを追加する

デバイスを追加するの、デバイスの種類の中から、「Bluetooth」をタップします。

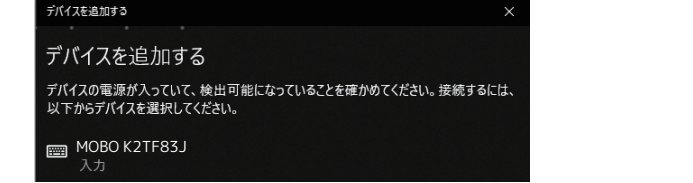


5 接続先を選択し、ペアリングモードを開始する

Fn キーを押しながら、Q(🔵1) キーまたは W (🔵2) キーのどちらかを押し、接続先のチャンネルを選択します。  
選択後、Fn キーを押しながら Tab (Pairing) キーを押し、ペアリングを開始します。  
ペアリングを開始すると、「State」LED ランプが、下記のように点滅します。  
・チャンネル 1 (🔵1) でペアリング… 赤色で点滅  
・チャンネル 2 (🔵2) でペアリング… 青色で点滅

6 ペアリングを開始する

ペアリングの準備が完了すると、「MOBO K2TF83J」が表示されます。「MOBO K2TF83J」をクリックします。



接続されると「デバイスの準備が整いました」と表示されます。  
キーボード側の「State」の LED ランプが消灯し、ペアリングを終了します。  
「MOBO K2TF83J」が「接続済み」となったら、正しくペアリングできています。

- 10 -

キーボードの配列設定変更 (Windows11の場合)

キーの印字通りに正しく入力できない場合は、OS 側でキーボードの配列設定変更が必要です。

例) ・SHIFT + 2 を入力した際、「@」ではなく「Ⓐ」が入力されてしまう  
→OS 側のハードウェアキーボード設定が、「英語配列キーボード」になっている  
・SHIFT + 2 を入力した際、「@」ではなく「!”」が入力されてしまう  
→OS 側のハードウェアキーボード設定が、「日本語配列キーボード」になっている

※Windows プラグアンドプレイなどが要因となり、OS 側の設定が勝手に変更されてしまう場合があります。その際は、下記の方法で設定変更を行ってください。  
設定変更には、管理者権限でサインインされている必要があります。予めご確認ください。

- 【変更方法】
- 1. 左下の Windows アイコンをタップ (キーボードのスタート「Windows」キーを押す) または画面の右端をスワイプし、アクションセンターを立ち上げます。
- 「設定」のアイコン (歯車アイコン) をタップし、Windows の「設定」を立ち上げます。
- 2. 「時刻と言語」をタップします。
- 3. 「言語と地域」をタップします。
- 4. 「言語」の「日本語」の右端の “…” アイコンをタップし、「言語のオプション」をタップします。
- 5. キーボード欄の「キーボードレイアウト」の右端の「レイアウトを変更する」をタップします。
- 6. 本製品は日本語 JIS 配列キーボードですので、印字通りに入力したい場合は、レイアウトの設定が「日本語キーボード (106/109 キーボード)」である必要があります。  
レイアウトの設定が「英語キーボード (101/102 キーボード)」になっている場合は、「日本語キーボード (106/109 キーボード)」に変更し、サインアウトします。

■紙面スペースの都合で、Windows10、macOS 機器におけるキーボードの配列設定変更、および Bluetooth® デバイスの接続手順については割愛致します。Microsoft 社、Apple 社の WEB ページ等をご参照ください。  
■iOS/iPadOS には、Windows や macOS のような、ハードウェアキーボードレイアウトの設定変更する機能(外付けキーボードの物理配列にOS を合わせる機能)はありません。

Android OS での使用について

Andorid OS(バージョン4.1以降)機器が、USB On-The-Go による有線接続、Bluetooth®接続およびHID プロファイルに対応していれば、当キーボードの使用可能です。下記理由により、弊社では動作保証を致しません。  
©Android OS は、オープンソース OS であるため、各 Android 機器メーカー毎に、ハードウェアキーボードの動作方法も異なります。弊社では、市場にあるすべての機器の動作を確認することはできないため、配列図通りの入力を保証できません。  
設定方法は、各デバイスの取扱説明書をご参照ください。  
©Andorid OS にインストールしているIMEの仕様により、修飾キーや機能キーなどを使用できない、または印字と別の動作になる場合があります。  
こちらは、各ソフトウェア側の仕様によるもので、本製品の不具合ではありません。  
©弊社から専用のアプリケーション等の配布は行っておりません。予めご了承ください。

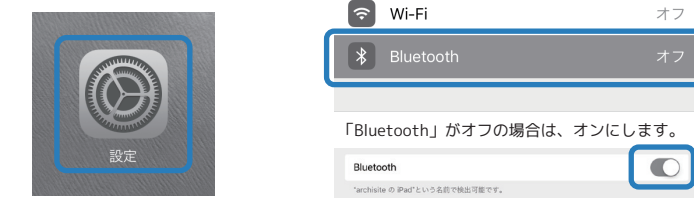
- 12 -

ペアリングする (iOS・iPad OS の場合)

※iOS/iPadOS 14 の画面を例に説明しています。

1 「設定」を表示する

「設定」をタップします。



3 接続先を選択し、ペアリングモードを開始する

Fn キーを押しながら、Q(🔵1) キーまたは W (🔵2) キーのどちらかを押し、接続先のチャンネルを選択します。  
選択後、Fn キーを押しながら Tab (Pairing) キーを押し、ペアリングを開始します。  
ペアリングを開始すると、「State」LED ランプが、下記のように点滅します。  
・チャンネル 1 (🔵1) でペアリング… 赤色で点滅  
・チャンネル 2 (🔵2) でペアリング… 青色で点滅

4 ペアリングを開始する

ペアリングの準備が完了すると、「MOBO K2TF83J」が表示されます。「MOBO K2TF83J」をタップすると、ペアリングされます。



キーボード上部の「Status」LED ランプが消灯し、ペアリングを終了します。  
「MOBO K2TF83J」が「接続済み」となったら、正しくペアリングできています。

- 13 -

macOS 使用時のホットキー・修飾キーなど

macOS 機器接続時のホットキー・修飾キーの操作に関しては、14 ページにある iOS 向けの配列図をご参照ください。

●macOS 独自の修飾キー (Cmd⌘キー、英数キー、かなキーなど) は、黒背景・白抜きで印字しています。マルチメディア機能などのホットキーとファンクションキー (F1～F12) の操作方法は、基本的には、iOS 機器接続時と同様ですが、下記の 2 キーのみ動作が異なります。

F4 = (ブラウザの起動) → Mission Control (Ctrl+上矢印キー同様)  
F5 = (オンスクリーンキーボードのON/OFF) → 動作しない

※モニターの輝度調整 (F1,F2) は、モニター内蔵機種のみで動作します。

■紙面スペースの都合で、macOS におけるキーボードの配列設定変更、および Bluetooth® デバイスの接続手順については割愛致します。APPLE 社の WEB ページ等をご参照ください。

ペアリング・無線接続における注意点 (※必ずご確認ください)

・WindowsUpdate など OS のバージョンアップ等の後に、OS 側の仕様でペアリング情報が消去される場合があります。以前のペアリング情報を削除し、パソコン・タブレット等の再起動を行ったのちに、ペアリング作業を再度やり直してください。

・USB ドングルタイプの受信機を使って、本製品とのペアリング・接続を行う際は、USB2.0 ポートヘドングルを接続してください。USB3.0 ポートに接続した場合、電波干渉が発生し、接続が不安定になったり、接続できない場合があります。

・接続先のパソコン等と本製品の間に遮蔽物、特に磁性体(鉄の机など)がある場合、接続が不安定 (例: 文字が入力され続けるなど) になったり、接続できない場合があります。接続先機器と本製品の間に、できるだけ遮蔽物を置かずにご使用ください。

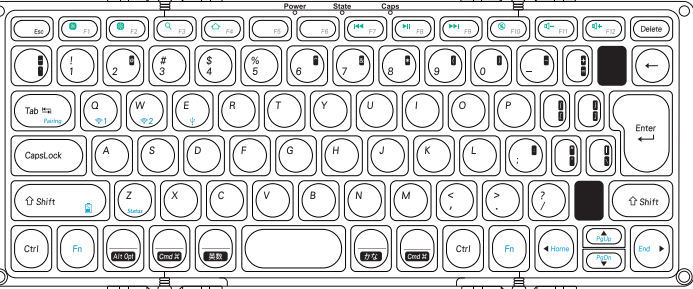
・接続先のパソコン等が、Wi-Fi の 2.4GHz 帯を利用している場合、混線が発生して、接続が不安定 (例: 文字が入力され続けるなど) になったり、接続できない場合があります。そういった場合は、一旦接続先機器の Wi-Fi を OFF にするが、5 GHz 帯などの周波数帯での接続に切り替えてお試しください。

・Windows10、11 パソコンの場合、パソコンの再起動した際、それまで使用可能だった本製品が突然動作しなくなったり、意図せずに接続が切断・スリープ状態になったり、再接続できなくなったりする場合があります。  
その際は、OS 側で “Bluetooth の省電力設定” を OFF にしたり、USB ドングルタイプの受信機を使用している場合は、“USB のセレクトティブサスペンド” を無効にしてください。

- 15 -

iOS・iPad OS 使用時のホットキー・修飾キーなど

◎ OS の仕様変更により、iOS16.1 / iPadOS 16.1 以降では、外付けの日本語配列キーボードを印字通りに使用可能になりました。使用するためには、OS 側の設定変更が必要です。  
1. キーボードを使用する端末と接続し、「設定」を表示する  
2. 一般>キーボード>ハードウェアキーボード>Keyboard Type と進み、“JIS(日本語)”を選択する。  
3. 設定を有効化するため、iPhone や iPad を再起動する。  
※上記操作は、本キーボードの機能ではなく OS の機能です。設定がうまくいかない場合は、Apple 社のサポートへお問い合わせください。  
◎ iOS16.1 / iPadOS 16.1 より古い OS では、本キーボードは「英語 US 配列キーボード」として動作します。これは iOS / iPadOS 側からの制限によるもので、キーボード本体の不具合ではありません。また、かな入力モード非対応です。「英語 US 配列キーボード」に存在しない・使用しないキー等は、キーを押しても入力されません。(下図の黒塗りのキー位置)  
◎ 下図の通り、英語 US 配列として動作する場合のキー印字や、iOS / iPadOS 独自の修飾キー (Cmd⌘キー、英数キー、かなキーなど) は、黒背景・白抜きで印字しています。



iOS・iPadOS のデバイスとの接続時の、Fn キーと同時に押しで動作するキー、マルチメディア機能などのホットキー、修飾キー等の操作方法は下記のとおりです。

- マルチメディア機能などのホットキー とファンクションキー (F1～F12) の操作方法
- F1 = モニターの輝度 DOWN
- F2 = モニターの輝度 UP
- F3 = (検索)
- F4 = (ホーム画面に戻る)
- F5 = (オンスクリーンキーボードの ON/OFF) (前のトラックへ)
- F7 = (再生 / 停止)
- F9 = (次のトラックへ)
- F10 = (音声ミュート ※1)
- F11 = (ボリュームダウン)
- F12 = (ボリュームアップ)
- Fn + F1 = F1
- Fn + F2 = F2
- Fn + F3 = F3
- Fn + F4 = F4
- Fn + F5 = F5
- Fn + F6 = F6
- Fn + F7 = F7
- Fn + F8 = F8
- Fn + F9 = F9
- Fn + F10 = F10
- Fn + F11 = F11
- Fn + F12 = F12

※1…iOS/iPad OSでは一部の機器で利用できません。

- 14 -

- 11 -